



▲式辞を述べる佐藤町長



▲式典の様子

新庁舎の落成を祝う

南関町役場新庁舎落成式を開催

1月15日、南関町役場の新庁舎落成式が執り行われ、国会議員や近隣市・町長をはじめ、関係機関や各界の代表などおよそ100人が出席しました。

佐藤安彦町長が「新庁舎を中心に、ソフト面の整備にも取り組み、住んでよかったと思っただけの南関町の実現に向けてまい進していきます」と式辞を述べました。町議会の橋永芳政議長は「今後も多角的な視点から議論を重ね、町政のチェック機関として開かれた議会を目指し、新たな南関町の創造に寄与していきたい」とあいさつしました。

また、建築工事業者を代表して、東急建設株式会社九州支店執行役員支店長の三嶋昭さんが「安全・安心で、親しみのある庁舎づくりの工事に携われたことに感謝し、末永く新庁舎が利用ができるよう、庁舎の維持に関わっていき」と謝辞を述べました。

式中盤には、町出身で東京パラリンピック女子ゴールボール日本代表の浦田理恵さんとプロゴルファーの大里桃子さんから届いたお祝いのビデオメッセージを紹介しました。

設計や施工を担当した事業者3人に感謝状を贈呈したほか、佐藤町長をはじめ関係者10人によるテープカットが行われ、新庁舎の落成を祝いました。

防災への決意、新たに

令和4年南関町消防出初式

町は1月8日、令和4年南関町消防出初式を大津山グラウンドで開催し、消防団員126人が出席しました。

今年は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典のみと規模を縮小して開催され、消防活動に功績のあった団員の表彰を行いました。

大里義明団長は「複雑多様化する現場に対応するため、消防団の役割はますます大きくなっている。地域防災の中核である消防団は、町民の生命・身体・財産を守るため、日々知識の習得や技術の向上に励み、迅速な活動ができるよう準備しなければならない」とあいさつしました。



▲式典の様子



▲団員の士気を高めるラッパ隊



成人式20歳の誓い



令和4年南関町成人式 二十歳の門出を祝う

町は1月4日、令和4年南関町成人式を南の関うから館で開催しました。

今年成人を迎えたのは平成13年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた96人。華やかな振袖や新調したスーツなどに身を包んだ新成人は、同級生と写真撮影や思い出話をするなど久しぶりの再会を楽しみました。なお、今年も感染症対策として、保護者の出席を見送るなど規模を縮小しての開催となりました。

式辞では佐藤町長が「故郷に誇りと愛着を持ち、夢や希望をいつも抱いて、自分の信じた道を切り開いていってほしいと心から期待しています」と激励しました。新成人代表者宣誓では、大佐古翔汰さん(関村)が「感謝する気持ちや人とのつながり、挑戦することを忘れず、南関町で育ったことを誇りに、成人としての自覚をもってこれからも励んでいきたい」と凛とした表情で、力強く決意を述べました。

